資料２－別紙３

■新任自治会・町内会長ヒアリング概要報告（平成 28 年４～６月実施）

課題・要望

・４号線を片側二車線化（拡幅）してほしい。
・自治会でできるまちづくりの取組は影響が小さい。行政による地域の活性化対策に期待している。
・空き家を活用した地域サロンを開催したいが、どのように検討をはじめたらよいのかわからない。
・用途地域を商用に変更できれば様々な可能性が見えてくるのではないか。
・世帯地図・家族構成などの情報がないため、町内会の状況把握ができない。
・まちづくりの焦点を子ども・高齢者だけではなく青少年・障がい者にも当てて、みんなでまちづくりをできるようにしたい。
・現役世代も参加できるような自治会システムにしたい。
・住宅購入の際の価格が安いと若い世代の流入がある。
・建築協定に定められた建ぺい率が高い地区は二世帯住宅に増改築可能なため、若い世代が流入している。低い地区はそれができない。
・高齢化、人口減により自治会活動に満足な労力・お金の供給ができない。
・自治会役員の負担が大きい為、自治会を辞めたい人が増加している。
・産婦人科・小児科が近隣にないので子育て世代には不便。

提案・アイディア

・旧庄戸中跡は様々な世代・地域の人々が集まるような後利用をしてほしい。ハイキングコースと連携してはどうか。
・町内会のホームページを立ち上げ予定である。
・防犯ネットワークを立ち上げたい。
・環状 4 号いたち川沿いの歩道（いたち川プロムナード・いたち川辺の道・いたち川小川アメニティ）をすべて繋いで安全に歩ける道にしてはどうか。
・特定の魅力に特化して、郊外にも人が集まる仕組みを作れないだろうか。
・民生委員を中心に、子育て世代を対象にしたカフェをしている。

今後の進め方

・まずは個別の自治会単位でヒアリングしてほしい。
・若い世代とまちづくりをテーマに懇談会を開催したい。